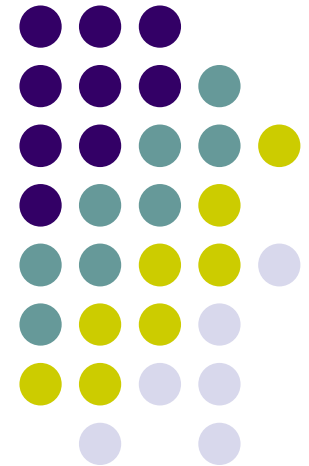


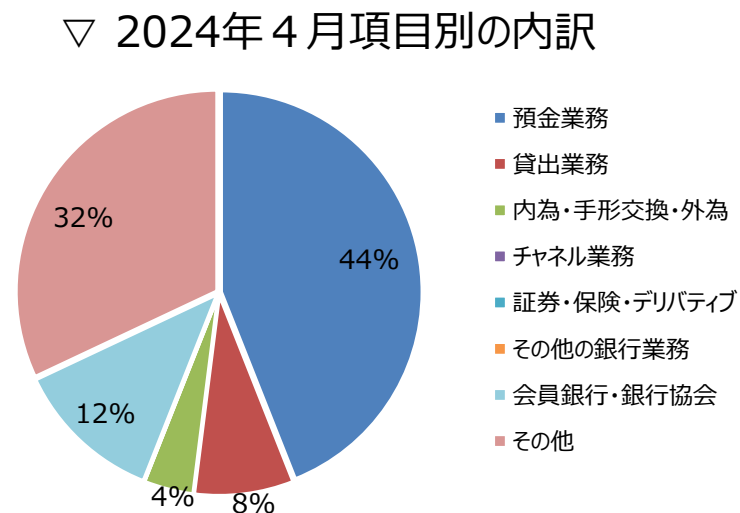
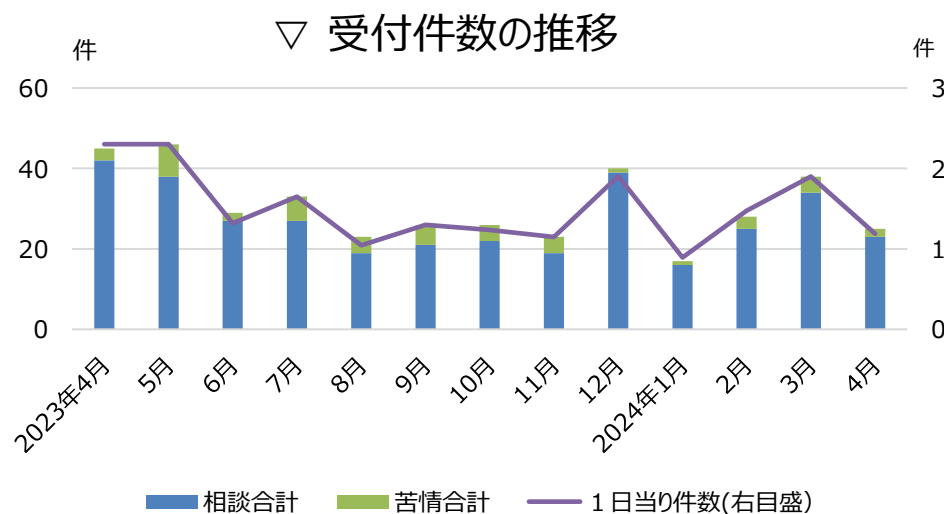
銀行とりひき相談所受付状況 (2024年4月)

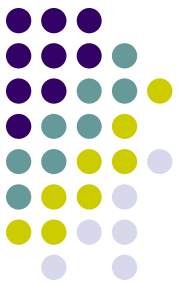
2024年5月



1. 受付件数の状況

- 銀行とりひき相談所における2024年4月の受付件数は25件となり、前月対比で▲13件の減少と3か月振りに減少に転じたほか、前年同月比でも▲20件の減少となり、1年10か月連続で前年を下回った。
 - 1営業日当たりでは1.2件となり、11か月連続で2件未満の低い水準となった。
- 受付項目別では、「預金業務」が全体の4割強を占め、次いで「その他」が3割、「会員銀行・銀行協会」が1割程度を占めた。
- この間、住宅ローンやカードローン等の返済に問題を抱えている消費者を対象としたカウンセリングサービスの利用はみられなかった。

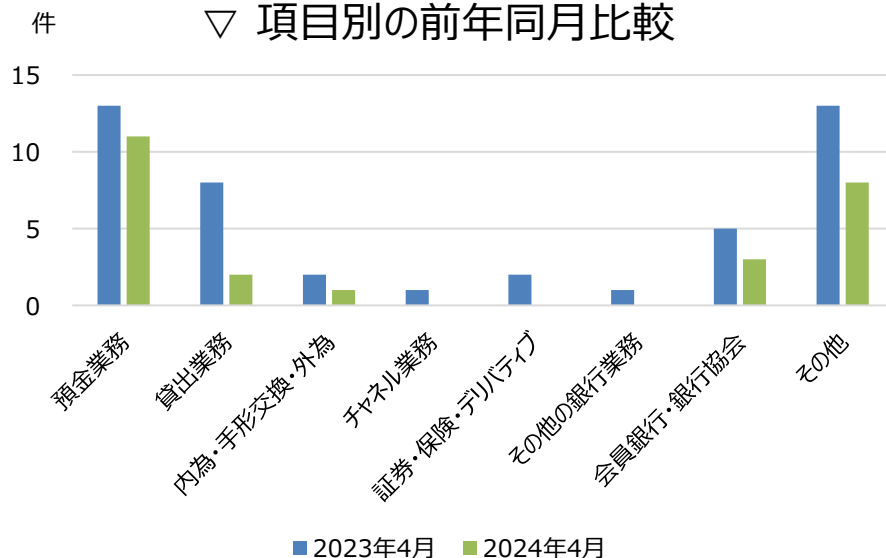




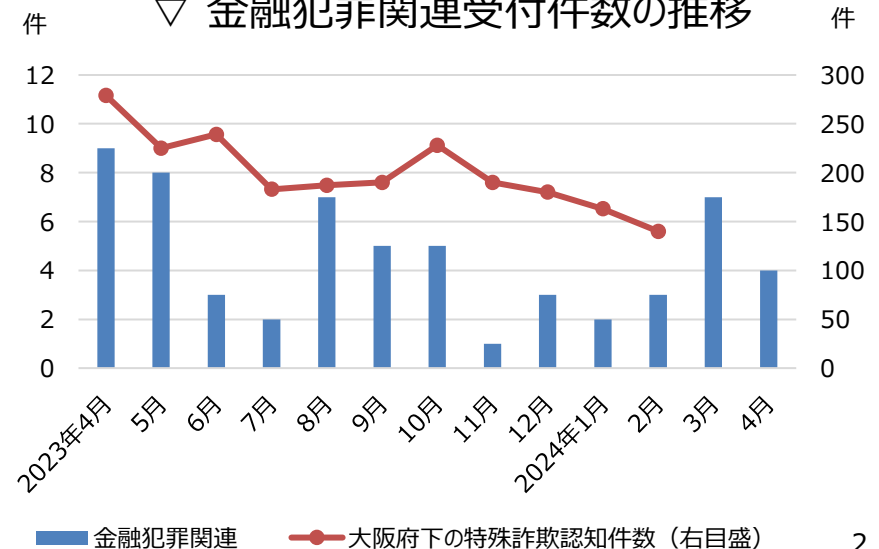
2. 2024年4月の特徴

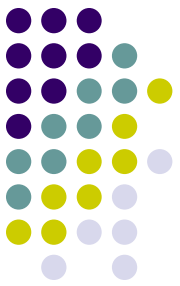
- 前年同月比の動向を項目別にみると、全ての項目で減少しており、特に「貸出業務」と「その他」の減少幅が相対的に大きい。
 - このうち「貸出業務」は、このところ金利環境の変化を受けてみられていた住宅ローンに関する相談が皆無となったことなどから、前年同月比▲6件の減少。
 - また、「その他」は同▲5件の減少。これは、前年同月に、銀行協会職員を騙る手口での金融詐欺が大阪府内で頻発する中で、金融犯罪関連の照会が相次いだ裏が出たことが主因。
- この間、「預金業務」は前年同月対比では▲2件の減少となったが、高齢化の進展を背景に、意思確認が困難な預金者の取引に関する相談や高齢者からの預金残高の有無に関する照会等が一定数みられた。

▽ 項目別の前年同月比較



▽ 金融犯罪関連受付件数の推移

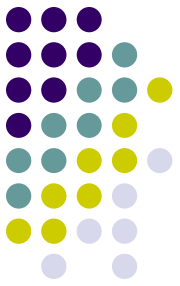




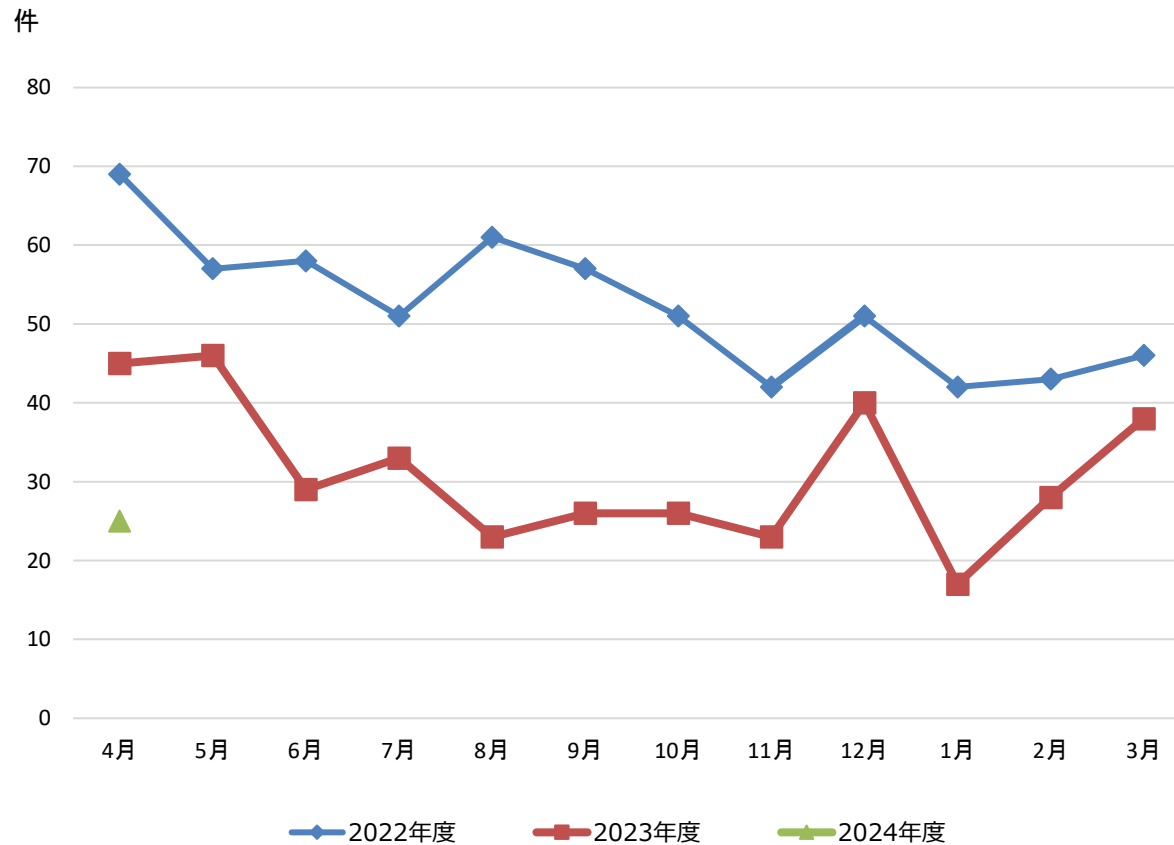
（参考 1） 銀行とりひき相談所受付件数（2024年4月）

（単位：件）

項 目	① 相 談 ・ 照 会			② 苦 情		
		前月比	前年同月比		前月比	前年同月比
預金業務	10	4	▲ 1	1	▲ 2	▲ 1
（内信用不安）	0	▲ 1	▲ 2	0	0	0
貸出業務	1	▲ 1	▲ 7	1	1	1
貸出全般	0	0	0	0	0	0
消費者ローン	0	0	0	0	0	0
事業資金	0	0	▲ 2	1	1	1
住宅ローン	0	▲ 2	▲ 5	0	0	0
アパートローン	1	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
内国為替業務	0	▲ 1	▲ 1	0	0	0
手形交換	0	▲ 1	0	0	0	0
外国為替業務	1	0	0	0	0	0
チャネル業務	0	0	▲ 1	0	0	0
証券業務	0	0	▲ 2	0	0	0
保険業務	0	0	0	0	0	0
デリバティブ業務	0	0	0	0	0	0
その他の銀行業務	0	▲ 1	0	0	0	▲ 1
会員銀行	0	▲ 3	▲ 4	0	0	0
銀行協会	3	▲ 4	2	0	0	0
その他	8	▲ 4	▲ 5	0	▲ 1	0
（内金融犯罪関連）	4	▲ 2	▲ 5	0	▲ 1	0
小 計	23	▲ 11	▲ 19	2	▲ 2	▲ 1
合 計（①＋②）				25	▲ 13	▲ 20



(参考 2) 月別受付件数の推移





銀行との取引について知りたいこと・お困りのこと
「銀行とりひき相談所」へお電話ください。

銀行とりひき相談所
06-6867-9547

- ✓ 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め大阪銀行協会までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- ✓ 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、大阪銀行協会は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。